

敬老の日に始まった日本初のシルバーシート 「優先席」にステッカー貼付

伊豆箱根鉄道株式会社(本社:静岡県三島市、代表取締役社長:伍堂 文康)の駿豆線・大雄山線では、1973年9月15日の敬老の日より、日本で初めてシルバーシートを導入しました(旧国鉄時代の中央線快速電車も同日に導入)。9月15日はシルバーシート記念日にもなっており、今年で設置から50年を迎えます。

本年の敬老の日となる9月18日(月・祝)に向け、優先席の啓発活動の一環として、以下のステッカーを駿豆線・大雄山線の車内に貼付し、車内のマナー向上に努めます。

※当時9月15日だった敬老の日は、現在9月の第3月曜日になっています。

※シルバーシートは現在、高齢者、お身体の不自由な方・けが人・体調不良の方・妊婦の方などを含む「優先席」に改称されています。



敬老の日
シルバーシートの日

9月15日はどんな日?

1973年9月15日、当時の「敬老の日」(現在は9月の第3月曜日)より駿豆線と大雄山線および国鉄時代の中央線に優先座席制(シルバーシート)が日本で初めて導入されました。現在は「優先席」と呼ばれています。



ゆずりあいを大切に!

記

ステッカー貼付について

1. 期間
 - 駿豆線: 9月8日(金)から順次
 - 大雄山線: 9月11日(月)から順次
 - ※9月30日(土)頃に撤去予定。
2. 貼付車両とステッカーサイズ
 - 駿豆線9編成・大雄山線6編成
 - タテ 110 mm×ヨコ 410 mm
3. ステッカーの貼付場所
 - 各優先席の窓



1973年 駅員が車内でシルバーシートを周知する様子

以上